

王なるキリスト

ルカ 23 : 35 - 43



司祭 ヨハネ 井田 泉

2022 年 11 月 20 日

降臨節前主日

聖光教会にて

今日は降臨節前主日。教会暦の1年の最後の主日です。この主日には「王であるキリスト」という別名があります。英国教会やアメリカ聖公会のカレンダーを見ると、“Christ the King”と記されています。

教会暦1年の最後の主日、1週間後に控えている降臨節の始まりに先だって、キリストがわたしたちのまことの王であることに思いを向けよう——これが今日の趣旨です。今は隠されているけれども、終りの日には、キリストは王としてご自身を現されます。

今日の特祷にはその趣旨が込められていました。

「永遠にいます全能の神よ、あなたのみ^{むね}旨は、王の王、主の主であるみ子にあって、あらゆるものを回復されることにあります。」

「王の王であるみ子」と祈りました。損なわれたこの世界、深く傷ついたこの世界と人々を回復し癒やすことが神の意志です。その回復と癒やしの業を、王の王であるみ子イエス・キリストが必ず実行される。

特祷の続きはこうでした。

「どうかこの世の人びとが、み恵みにより、み子の最も慈しみ深い支配のもとで、解放され、また、ともに集められますように。」

「み子の最も慈しみ深い支配」、「支配」という言葉も、み子が王であることを表現しています。この方は深い慈しみによってわたしたちを包まれる。そうしてこの方の願いがわたしたちの願いになる。これがみ子の支配です。権力、暴力による抑圧ではなく、愛による保護と統治です。

今、特祷の中に「王であるキリスト」が込められていることを確かめたのですが、聖書日課のほうはどうでしょうか。「王であるキリスト」を聖書日課の中に尋ね求めてみましょう。

まず旧約聖書・エレミヤ書です。こう書かれていました。

「『彼らを牧する牧者をわたしは立てる。群れはもはや恐れることも、おびえることもなく、また迷い出ることもない』と主は言われる。」エレミヤ 23:4

羊の群れを滅ぼし追い散らす悪しき牧者に代えて、羊の群れを守り養う真の牧者を立てると、神は約束されます。

「見よ、このような日が来る、と主は言われる。

わたしはダビデのために正しい若枝を起こす。

王は治め、栄え、この国に正義と恵みの業を行う。

彼の代^よにユダは救われ、イスラエルは安らかに住む。

彼の名は、『主は我らの救い』と呼ばれる。」エレミヤ 23:5-6

これは救い主の到来の約束です。その方は「王」と呼ばれています。

「王は治め、栄え、この国に正義と恵みの業を行う。」

預言者エレミヤは、牧者たる救い主、王なる救い主の到来を預言しました。この預言は王なるキリストを指し示しています。

使徒書はどうでしょうか。今日のコロサイ書には「王」という言葉は出て来ませんでした。けれどもよく読むと「王国」という意味の言葉が出て来ます。

「^{おんちち}御父は、わたしたちを闇の力から救い出して、その愛する
御子の支配下に移してくださいました。」コロサイ 1:13

ここの「(御子の) 支配」と訳された言葉は、「王国」(バシレイア)という言葉なのです。

わたしたちは闇の力から救い出されて、御子イエス・キリストの支配＝キリストの王国の中に移された。王なるキリストが言わば両手でわたしたちを囲み、守り支えていてくださる、ということです。使徒書にも「王なるキリスト」を見出しました。

そして福音書です。今日の福音書の中に「王」という言葉が出て来ました。十字架につけられたイエスを兵士たちが侮辱して言います。

「『お前がユダヤ人の王なら、自分を救ってみろ。』

イエスの頭の上には、『これはユダヤ人の王』と書いた札も掲げてあった。』ルカ 23:37-38

兵士たちは、ほんとうのイエスのことを知りません。律法学者たちも祭司長たちも、ポンティオ・ピラトも同じです。けれども、イエスが十字架の上で苦しんでいるこの場面で、イエスをまことの王として知った人がいました。イエスと一緒に十字架につけられた犯罪人の一人です。彼は、傍らのイエスにこう言いました。

「イエスよ、あなたの王国においでになるときには、わたしを思い出してください。」ルカ 23:42

新共同訳では「^{みくに}あなたの御国においでになるときには」と訳されていますが、御国は「バシレイア」という言葉で、「王国」という意味なのです。先ほどのコロサイ書の「支配」と同じです。

「あなたの御国においでになるとき」とは、イエスが王として自らを現されるとき、罪と悪と死を滅ぼして救いを完成されるときです。そのときには、「わたしを思い出してください。」

この十字架の上の犯罪人は、死のうとしながら、同じく死のうとされるイエスに、王なるキリストを見ました。この方に願うことだけが彼のすべてでした。

「イエスよ、^{みくに}あなたの御国に（あなたの王国に）おいでになるときには、わたしを思い出してください。」

イエスは彼に答えて言われます。

「アーメン、あなたに言う。あなたは今日わたしと一緒に楽

園（パラダイス）にいる。」ルカ 23:43

今日の主日「王であるキリスト」を尋ねて、特祷から旧約聖書、使徒書、福音書とたどってきました。そしてわたしたちはそのいずれにもその方を見出しました。

ここでふと、聖書の初めのほうに、「王なるキリスト」を尋ねてはるばる旅してきた人たちがいたことを思い出します。

「ユダヤ人の王としてお生まれになった方は、どこにおられますか。わたしたちは東方でその方の星を見たので、拝みに来たのです。」マタイ 2:2

この方がお生まれになったときに、東方の博士たちが王なる救い主を尋ねて来て見出し、伏して拝みました。そしてこの方が死のうとされるときに、一人の犯罪人がこの方を王なる救い主として告白しました。飼い葉桶の中で生涯を始められた方は、十字架の上で生涯を閉じられた。その大切な初めと終わりの二つの場面で王なるキリストと出会ったわずかの人たちが、わたしたちに「この方こそまことの王だ」と知らせてくれています。

「王であるキリスト」とはどういう方か、三つのことを知しましょう。

第1に、この方はわたしたちを守り、導く方です。この方は王としてわたしたちを守り導く力を持っておられます。わたした

ちはこの方によって守られ、導かれます。この方は王として、牧者として、わたしたちを統治されます。

第2に、この方はわたしたちに働きかけて良いことを行わせてくださる方です。わたしたちは僕^{しもべ}としてこの方に仕えます。この方は何か意味あること、大事なことをわたしたちに命じ、託されると同時に、それを行う力を与えてくださいます。

第3に、この方はわたしたちの王として最終責任を引き受けてくださる方です。この方は、わたしたちの愚かさ、わたしたちの罪、わたしたちの滅びを引き受けて、十字架に死なれました。この方はわたしたちの罪を赦し、自由にし、わたしたちを新たに生かしてくださいます。

まことの王として来られた方を、このクリスマスに新しくわたしたちの内に迎えましょう。

祈ります。

王なるキリスト、わたしたちの救い主イエスさま、わたしたちをあなたのもとにしっかりと立たせてください。深い慈しみによってわたしたちを治め導いてください。あなたに従わせてください。わたしたちの一切を十字架の上で引き受けてくださったあなたのみ名を賛美します。アーメン